

令和6年度 自己評価結果公表シート

作成 将軍野幼稚園

1、本園の教育目標

元気に生き生きと活動し情操豊かで思いやりのある子ども

2、本年度、重点的に取り組む目標や計画

- ・ 幼児の発達段階や興味関心に合わせた遊びの環境を設定し、遊びがより豊かになるよう再構成、発展させていく。
- ・ それぞれが自分の考えや意見を出し合い、個性や特技を活かしてティーム保育を展開する。

3、評価項目の達成および取り組み状況

	評 価 項 目	結 果	取組状況の反省
学 園 の 重 点 項 目	教育目標の具現化に向け、学園独自の研究(運動・音楽リズム・劇・絵画造形)を総合的に取り入れ、保育を計画・実践している。	B	保育者も試行錯誤しながら研究し、様々な形で取り入れてきた。表現することが大好きな子どもたちに育ったが、絵画造形においては保育者も苦手意識をもち、あまり取り入れることができなかった。バランスよく実践できるよう、今後も総合的に取り入れていく必要がある。
自 園 の 重 点 項 目	指導計画に基づいて幼児が主体的に関わりたくなるような環境構成をし、幼児の活動がより豊かになるよう環境を再構成しながら活動を展開する。	B	子どもから出てくる遊びだけが主体的と思い、保育者からの意図する遊びの投げかけが不足した。子どもたちの興味関心から遊びを一緒に作り出すことの必要性を保育者同士で反し合うことで一人一人意識し、遊びの投げかけに変化が見られてきている。
	幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス、学年をこえてティーム保育を展開している。	B	全員揃って打ち合わせをしたり、保育の振り返りの時間が思うようにとれなかった。子どもの姿や遊びの内容、悩んでることなどみんなで出し合いながら共通理解していく時間を今後も意識してとれるようにしたい。

4、学校評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
B	<p>感染症や体調不良の為、職員が足りないことも多かったが、その中でもみんなで声を掛け合い、しっかりと子どもたちを受け止めながら、全員で保育にあたることができた。その点ではチームワーク良く一人一人意識しながら業務にあたった。そしてオープン保育の環境構成など、異年齢を考慮し、時には再構成しながら子どもたちと一緒に展開することができたので、今後も継続して取り組んでいきたい。</p> <p>改善点や課題を職員で共有・理解できるように、話し合いの場を多く設けたり、一人ひとりのスキルを磨きながら、集団としても成長できるようにしていきたい。</p>

【A】…十分達成されている。【B】…達成されている。【C】…取り組まれているが、成果が十分ではない。

【D】…取り組みが不十分である。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼児の発達段階や興味関心に合わせた遊びの環境を設定し、遊びがより豊かになるよう再構成、発展させていく。	遊びや活動のねらい、重視するポイントを明確にし、遊びが単発的にならないよう子どものアイディアを取り入れながら一緒に遊びを展開していけるようにする。お互いの保育を見合う中で、先生同士もそれぞれの考えを出し合いながら遊びを発展させていく。
幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス・学年をこえてティーム保育を展開している。	活動や子どもの対応について、周りと相談することでお互いのやり方や意見を参考にし、よりよい保育の形を考えていく。また、改善点や課題を職員で共有・共通理解できるように話し合いの場を設け、一人ひとりのスキルアップを図りたい。